

■チリ：南米初の地熱発電所が運開

チリ石油公社 ENAP は 2017 年 4 月 3 日、南米初となる地熱発電所が運開（Cerro Pabellón：4.8 万 kW）したと発表した。発電所はチリ北部アタカマ州（第Ⅲ州）に立地しており、3 月 31 日から北部系統（SING）に電力を供給している。発電所の資本比率は、イタリアの再エネ事業者エネルギーグリーンパワー81.7%、ENAP18.3%。年間発電電力量は 3 億 4,000 万 kWh で、年間の CO₂ 排出量を 16.6 万 t 削減することが期待されている。建設には、チリ政府による地熱支援（MiRiG）3,000 万ドルの他、クリーン・テクノロジー基金（CTF）の支援を受けている。